

愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い 教育長あいさつ

令和2年11月25日（水）

生涯学習センター 県民小劇場

本日、多数の皆様をお迎えして、令和2年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」を開催できますこと、心からお礼申し上げます。

皆様方には、日頃より、県内各地において、それぞれのお立場から愛媛の子どもたちの健やかな成長のために御尽力をいただいております、誠にありがとうございます。

さらに、この度のコロナ禍においても、子どもたちが安心して充実した日々を送れるよう、温かく見守っていただいております、心から敬意を表します。

さて、次代を担う子どもの健やかな成長は、社会全体の願いであります。しかし、我が国におきましては、少子化による人口減少、急速な高齢化の進展など大きな変革の中にあり、地域社会においても、一人親世帯の増加等を背景とした貧困問題、地域の伝統行事の担い手の減少、人と人とのつながりの希薄化による社会的孤立の拡大など、様々な課題に直面しています。

このような中、国の第3期教育振興基本計画においては、地域コミュニティの核として、地域に信頼される学校づくりを進め、地域の発展の担い手となる人材を育てるためには、「学校と地域の連携・協働体制を構築し、地域が人を育て、人が地域をつくる好循環を実現する」ことが、重要であるとしております。

県におきましても、「学校・家庭・地域が連携した教育の推進」に向け、創意工夫を生かした学校づくりに努めるとともに、家庭や地域の教育力の向上を図りながら、学校、家庭、地域、企業等が互いに協力しあいながら、未来を担う子どもたちの健やかな成長を促進してまいりたいと考えております。

本日の「集い」は、教育という枠組みを超えて、子どもたちの成長に関わる、保健・福祉、子育て支援、警察、企業、学生等の様々な立場の方にも御参加いただき、子どもを取り巻く多様な問題を共通課題としてとらえることにより、次世代を担う子どもたちの豊かな教育環境の構築に努めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働した取組の一層の推進を図る契機となることを願って開催するものであります。とりわけ、コロナ禍により、環境が激変する中、子どもたちが、新しい生活様式に馴染み、愛顔で日々を過ごし成長していくには、地域の大人一人一人の御助力が不可欠であります。

本日は、教育改革実践家の藤原 和博（ふじはら かずひろ）先生による御講演をいただくとともに、5つの個別テーマによる分科会での事例研究を通して、研修や情報交換を行うこととしております。

皆様方におかれましては、それぞれの立場や経験に基づいた様々な視点から活発な御協議をいただき、実りある研修となりますよう御理解と御協力をお願いいたします。

終わりに、本日御参会の皆様のご健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。